

校長通信

令和4年度
第12号
令和4年8月26日(金)
日之影町立宮水小学校

始業式における児童代表の作文を紹介します！

二学期がんばること

二年 工藤 愛望 さん

たのしい夏休みが終わりました。ことしの夏休みは、りょう理をしたり、おさをあらったりして、お手つだいをたくさんがんばりました。

きょうから二学期がはじまります。わたしが二学期にがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、しせいをよくすることです。足をきちんとゆかにつけて、立ようのしせいでがまんでできるようにがんばりたいです。しせいがよくなると、べんきょうにしゅう中できるし、目もわるくありません。きゅうしょく時間もしせいよくたべると、体のちょうしもよくなります。

二つ目は、へんじをすることです。一学期は、へんじをしなかったり、こえが小さかったりすることがありました。へんじが聞こえないと、あい手の人はいやな気持ちになると思います。だから、二学期は、いつでも元気よくへんじをします。

三つ目は、ともだちにやさしくすることです。一学期は友だちと言いあいをして、自分がいやな気持ちになったり、友だちにいやな思いをさせてしまったりしたことがありました。だから、二学期は、友だちがわすれものをしてたら、かしてあげたり、ふわふわことばをいったりしようと思います。そして、「ごめんね」や「ありがとう」をたくさんいって、友だちとなかよくすごしたいです。

二学期は、音楽さいがたのしみです。一年生ははじめての音楽さいなので、お手本になってうたったり、えんそうのしかたをおしえたりしたいと思います。

二学期のちかい

六年 鯨島 光 さん

小学校生活最後の一年間がスタートした時、ぼくは、返事や反応をしっかりする六年生になりたいと思いました。そのためにぼくは、相手の話に一回一回うなずいてしっかりと耳をかたむけることをがんばろうと思いました。

そして、このがんばりたいことを達成するための具体的な目標を立てました。

一つ目は、先生や友達の話を目、耳、心で聞くことです。

二つ目は、あいさつです。相手の礼を最後まで見とどけるあいさつを毎日やろうと決めました。

一学期をふり返ってみると、返事や反応はよくできたと思います。キャリアパスポートにも、きくち先生からみんなのお手本でしと書いてもらいました。しかし、人の話を百パーセント聞けたかというところではありませんでした。点数をつけると八十点でした。だから、二学期は百点の聞き方ができるようにしたいです。そのために、いろいろな活動に関心をもって、集中して取り組めるようにがんばりたいと思います。

次にあいさつについては、声は大きくできましたが、相手の礼を見とどけることについては、百点とは言えませんでした。だから二学期は、相手の目を見てあいさつすることをがんばりたいと思います。

一学期のおわりに、ぼくは、運動会での副団長に立候補しました。返事や反応をしっかりする六年生、宮水小にしていけるよう、良い聞き方、あいさつをがんばって、みんなを引っばっていきたいと思います。

～緊急連絡先について～

土日、祝日、学校閉庁日における、交通事故や新型コロナウイルス感染症等の緊急連絡は、教頭携帯（090-5380-7956）へお願いいたします。緊急でないものについては、これまで通り学校（87-2725）へおかけください。保護者の皆様方の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

～おめでとうございます～

- 「おつかいしたよ」 工藤 竜翔さん（1年）8月3日「宮日（若い目）」掲載
- 「ぼくの森」 平田 真音さん（6年）8月4日【夕刊デイリー（光の子）掲載】
- 「ほおずきの見学」 菊池佳菜さん（3年）8月 日「宮日（若い目）」掲載

